

令和6年度避難車両管理システム詳細設計業務仕様書

第1 業務の目的

京都府では、原子力災害時において、車両の出発元施設（病院・学校等）情報と、出発元・避難退域時検査場所等の出発/到着時間を一元管理による迅速で正確な住民避難活動をするを目的として、「避難車両管理アプリケーション/システム」（以下、「避難車両管理システム」という。）の検討を進めている。検討に当たり、令和5年度には、委託契約「令和5年度避難車両管理システム基本設計業務」（以下、「前年度業務」という。）において、避難車両管理の効率化に資するシステムの要件を抽出・整理したところである。

本業務では、前年度業務において令和6年3月15日に株式会社構造計画研究所から提出された、避難車両管理システムの要件定義書をもとに、各ステークホルダの業務フローの整理・システム構成の設計等を実施し、システム基本設計書を作成することを目的とする。

あわせて、避難所受付の効率化及び災害物資の管理等を目的として、避難所における避難者の入退出情報や本人情報を集積する「避難所簡易受付アプリケーション/システム」（以下、「避難所簡易受付アプリ」という。）の府への適用可能性、及び避難車両管理システムとの連携可能性についても、本業務内で検討する。

第2 委託期間

契約締結日から令和7年3月28日まで

第3 業務内容

- ① 基本機能を対象としたシステム設計（画面設計含む）
 - ・ 前年度業務の成果物である要件定義書をもとに、避難車両管理システムの基本機能を対象としたシステム設計を行う
 - ・ あわせて、それぞれの基本機能について画面設計も実施する
- ② 実装すべき拡張機能の選定、及び選定した拡張機能のシステム設計（画面設計含む）
 - ・ 前年度業務の成果物である要件定義書をもとに、実装すべき拡張機能について、府と協議の上選定する
 - ・ 選定した拡張機能についてシステム設計を行う
 - ・ あわせて、それぞれの拡張機能について画面設計も実施する
 - ・ また、既存の避難所簡易受付アプリの調査、および避難車両管理システムとの連携可能性について検討を行う
- ③ システム構成の検討
 - ・ ①②の設計・検討結果をうけ、避難車両システムのシステム構成を検討する

- ④ 非機能要件の検討
 - ・ ③の検討結果をうけ、避難車両システムの非機能要件（可用性/性能・拡張性/運用・保守性/移行性/セキュリティ等）を検討する
- ⑤ 市町要望ヒアリングの支援及びヒアリング結果の整理
 - ・ 府にて実施予定の関係市町要望ヒアリングに際して、技術資料作成等の支援を行う
 - ・ また、ヒアリング結果を整理し、府と協議の上、拡張機能の選定及びシステム設計に反映させる
- ⑥ システム基本設計書作成
 - ・ ①～⑤の成果として、システム基本設計書を作成する
 - ・ 作成したシステム基本設計書に基づき実際にシステムを構築した場合の必要経費について、導入/保守運用それぞれのフェーズで積算を行う

第4 貸与資料

令和5年度に京都府が実施した「令和5年度避難車両管理システム基本設計業務」の成果物である要件定義書

第5 成果物

- ① システム基本設計書
紙媒体（1部）及び電子データ
- ② システム導入/保守運用に係る必要経費積算書
紙媒体（1部）及び電子データ

第6 その他

当該業務の実施にあたっては、随時、府と協議を行い、その指示に従うこと。